

Press Information

5V、SOT パッケージ、真のフェイルセーフ RS-485/RS-422 トランシーバ、 最大 20Mbps のデータ伝送

MAX3060E/MAX3061E/MAX3062E は、8 ピン SOT パッケージの高速 RS-485/RS-422 トランシーバです。これらのデバイスは業界標準の SOP パッケージに比べ 70%の基板スペースの削減になり、信頼性の高いデータ伝送を確保するために真のフェイルセーフ及びホットスワップ回路を備えています。ホットスワップ回路は、スタートアップ時に少なくとも 10 μ s の間 RS-485/RS-422 ラインをハイインピーダンス状態に保つことによってホット挿入の際のデータグリッチを除去します。出力ドライバはドライバ・イネーブルで最初の遷移が起こるまでハイインピーダンス状態が維持されます。真のフェイルセーフ回路は、すべてのドライバがディセーブルの状態で入力がオープン、ショート、または終端伝送ラインに接続されるとき、ロジックハイ・レシーバ出力を確実にします。強化型静電放電(ESD)保護回路もすべてのデバイスに内蔵されています。これらのデバイスはヒューマンボディモデルで最大 ± 15 kV まで機器が保護されるよう規定されています。

MAX3061E ファミリには 3 つのデータレートのオプションがあります。MAX3060E は反射を取り除き EMI を低減するためのスルーレート制限回路を備えています。この製品は最大 115kbps のデータレートで動作することができます。MAX3061E もスルーレート制限回路を持ち、最大 500kbps のデータレートで動作します。データ負荷の大きいアプリケーションや EMI に対して敏感でないアプリケーションについては、MAX3062E が最大 20Mbps でデータ伝送を行うことができます。すべてのデバイスは 1nA のシャットダウン消費電流を特長とし、5V の単一電源で動作します。

MAX3060E/MAX3061E/MAX3062E は 8 ピン SOT パッケージで提供され、工業用拡張温度範囲での動作が保証されます。